



貸庫券票略説

大藏省  
翻譯課

1587

15







貸庫券票略説

貨物保管券票

原語

英吉利國ニ於テ「ワラント」稱スル貸庫券票ハ其貸庫ノ管轄所ヨ  
 リ凡百ノ高取貨物ヲ貸庫内ニ保管スルヲ証明スルカ為メニ券  
 票ヲ作りテ其貸主ニ付與スル所ノ貨物ノ保管証券ヲ謂フナリ  
 而レテ其貸主ハ貸庫ニ寄頓スル所ノ貨物ヲ他人ニ轉賣セント  
 欲スレハ則チ通常定例ナル背書ヲ其券票ニ施セハ則チ券票ヲ  
 以テ他人ニ轉賣スルヲ得ヘシ其券票面ニハ寄頓セル貨物ヲ書  
 載シ以テ見物ニ代ユル所ノ者トス是ヲ以テ此貸庫券票ハ特別  
 ニ貴重ナル功用ヲ含有セリ何トナレハ則チ其轉賣スルニ當リ  
 テ其見賣ノ貨物ヲ運搬スルト及ヒ其運搬ニ関シテノ無益ナル  
 費用トヲ省除スルヲ得ルノ便宜アルヲ以テスレハナリ

大正十一年四月  
隈侯爵邸寄贈



佛蘭西國ニ於テハ則テ民間實際ノ營業上ニ便利ヲ與フルカ為  
メニ二様ノ名義ト功用トヲ保有セル者ヲ併セテ之ヲ一面ノ貸  
庫券票ニ區劃記載シテ其貨物ノ貸主ニ付與スルノ例法ト為ス  
其一ヲ名ケテ「セピセト」曰ヒ以テ其貨物ノ所有主ヲ轉換スル  
ノ功用ニ供充シ其一ヲ名ケテ「ワラント」曰ヒ以テ其貨物ヲ抵當  
若クハ典質スルノ功用ニ供充ス此「ワラント」即チ貨物當質券票ハ  
專ラ其貸主ヲシテ金銀借用ノ便宜ヲ與フルカ為メニ施設スル  
所ノ者トス

時アリテ若シ貸主其貸庫ニ寄頓セル貨物ヲ以テ之ヲ抵當若シ  
クハ典質シテ以テ一時ノ融通ノ為メニ金銀ヲ借用セント欲ス  
ル有レハ其貸庫券票ノ中央ヨリ裁斷シ「ワラント」名クル半面ヲ  
以テ其借用金ノ事出ラ背書シ之ヲ債主ニ交付ス此場合ニ於テ  
ハ其裁斷シテ背書セル半面ノ貨物保管券票ノミヲ以テ「ナシ」ナ

スマン(即チ一般ノ當質券票ト同一ニ之ヲ抵當若クハ典質ニ行  
使スルノ功用ヲ保合シ其抵當若クハ典質スル見實ノ貨物ニ於  
テ其債主ヲシテ通常一般ナル典當鋪ト同一ナル權利ヲ保有ス  
ルヲ得セシムルノ証憑ト為ルナリ

若シ貸主貸庫ニ寄頓セル所ノ貨物ヲ發賣セント欲シ而シテ其  
貨物ハ已ニ之ヲ他人ニ抵當若クハ典質セル等ノ故障ナケレハ  
則チ其「レ」セピセ即チ貨物寄頓券票及ヒ貨物保管券票ヲ併セテ  
共ニ之ヲ買主ニ交付スヘシ此場合ニ於テハ賣主共販賣ノ事由  
ヲ券票ニ背書シ買主ハ其背書セルニ券票ニ對シテ其貨物ノ新  
貸主ト為ルヲ得ヘシ

若シ或ハ其貨物ヲ已ニ他人ニ抵當若クハ典質スルノ故障アリ  
而カモ更ニ之ヲ發賣セント欲スレハ則チ賣主ヨリ買主ニ對シ  
テ其貨物寄頓券票ノミヲ交付スルヲ以テ買主ハ亦直チニ其貨



物ノ新貨主ト為ルヲ得ヘレ然リト雖此場合ニ於テハ買主ハ  
賣主ニ代リテ其負債ヲ償還スルノ事項ヲ約定セサル可ラス其  
約定ノ旨趣ハ其連注タル者ノ最初ニ背書セル貨物保管券票ニ  
對シテ借用セル負債金ノ総額ニ照シテ其貨物保管券票ヲ携持  
シ来リテ要求スル所ノ人ニ其金額ヲ償還スヘキノ責任ヲ負擔  
スル者トス  
是ニ因テワラント稱スル語ハ佛蘭西國ニ於テ施行スル所ノ功  
用ニ就キテ之ヲ觀レハ英吉利國ニ於テ慣行スル所ノ功用ニ比較  
スルニ其語意ノ境域稍ヤ狹隘ナリト謂フ可シ

貸庫券票ノ沿革

貸庫券票ノ沿革セル慣例ヲ溯索スルニ佛蘭西國ニ於テハ實ニ  
近ク一千八百四十八年二月ノ革命以後ニ至リ始テ貸庫ノ方法  
并ニ寄頓セル貨物ヲ賣買若クハ抵當若クハ典質スルノ便利ニ

供レテ貸庫券票ヲ發行スルノ法則ヲ制定セリ蓋シ此ノ貸庫ノ  
方法寺ハマレ<sup>地名</sup>公共ノ貸庫ニ於テ實際ニ設施セル所ノ例  
法中ヨリ撰擇取捨スル者トス○是ヲ以テ此法則ハ同年三月二  
十一日并ニ二十五日決定ノ布告ト及ヒ同年八月二十三日布告  
セル法則中ノ第九章ト同年三月二十六日ノ大藏卿ノ決定セル  
條款等ニ於テ貸庫ノ貨物保管ノ方法并ニ貸庫ノ管轄所ノ帳簿  
記載ノ例方ヲ設立シ而シテ併セテ其貨物寄頓券票ノ形制及ヒ  
書式トゴント<sup>レ</sup>即チ此等ノ種類ノ券票ヲ賣買經紀スル店  
舗ニ於テ貨物寄頓券票ヲ實際ニ授受スルノ約束ト貸庫ニ於テ  
寄頓セル貨物ヲ保護スルノ注意ト其貨物保管券票ヲ兼諾シテ  
轉受スル人ヲシテ其期限ニ至リテ<sup>源</sup>償金額ノ償還ノ延滞スル  
ニ當リ之ヲ要求督徴スル權利等ノ法則ヲ制定セリ○然ルニ此  
法則ハ頗ル苛刻嚴峻ニシテ當時ノ人情風習ニ適合スル能ハス



レテ實地ニ之ヲ施行シテ其券票ヲ賣買授受スルノ際ニ臨ミテ  
支障牴牾スル鮮少ナラス今試ニ其支障牴牾ノ最モ彰著ナル  
事蹟ヲ舉論スレハ其検査ノ要用ト共貨物ノ貨主ヲ轉換スルノ  
事由ヲ貸庫ノ管轄所ノ帳簿ニ記載スルノ要用トニ於テ

其種複約束ヲ為スノ奸慝ト同一ニ看做サレ凡ソ商賈ノ内幕  
ニ多少ノ計度ヲ為スヲ許サスレテ之ヲ局縛強橋セラレハノ  
困難

見ニ今貨物保管券票ヲ所有スル人并ニ最初貨物保管券票ニ  
對シテ金銀ヲ稱貸セル人ノ為メニ共連主ニ私協約定ヲ實行  
シテ抵當若クハ典質セル所ノ貨物ヲ要求シテ自己ノ所有ト  
為サント欲スルニ當リ連主ヲシテ所有ノ貨物ヲ其人等ニ  
侵占擄奪セラレ而カモ其原負債ハ依然トシテ自己ノ身上ニ  
負擔セシメラルハノ地位ニ陷井ルノ困難

其貨物保管券票ヲ所有スル人并ニ金銀ヲ稱貸セル人ヲシテ  
其抵當若クハ典質セル貨物ヲ要求シテ自己ノ所有ト為スノ  
場合ニ臨ミ其貨物ヲ接取スルニ関シテノ困難

凡ソ貨物保管券票ヲ以テ各種ノ券票類ヲ賣買經紀スル店舗  
ニ就キテ之ヲ挈帶賣買スルニ関シテノ困難

一千七百九十一年ニ決定セル法則ニ據テ税関ノ特權ヲ以テ此  
等ノ典質家財或ハ動産ニ関スルノ法則ヲ制定シ尋テ又一千八  
百五十八年五月二十八日決定布告スル法則ハ貸庫ニ寄頓スル  
商販貨物ヲ賣買シ及ヒ一般ノ貨物ヲ衆多ニ賣買スル等ノ事項  
ニ於テ凡ソ商賈ノ營業上ニ関シテ其授受經紀ヲ正確嚴肅ナラ  
シメント欲スルノ用途ニ出ツル者トス爾後一千八百五十九年  
三月十二日行政官ノ決定セル法則ヲ以テ此方法ヲ十分ニ改良  
シ同月三十一日租稅局一般ニ施行スルノ法則并ニ同年四月十



二日勸工勸商各局ノ制立セル法則ニ據テ之ヲ實際ニ施用スレ  
ニ於テ已ニ善美ナル完全ノ法則ト成レリ是ニ於テ乎佛蘭西全  
國一般ニ商販貨物ノ運轉循環ニ十分ノ便宜ヲ與フルヲ得ルニ  
至レリ

貸庫券票ヲ行使スル實際ノ景況

凡ソ貸庫ハ其貸庫ニ保管セル見實ノ貨物ニ代用スル所ノ貨物  
寄頓券票及ヒ貨物典質券票ヲ作リテ之ヲ發行スルノ權利ヲ保  
有スル者トス然リ而シテ其新構ノ貸庫ト舊存ノ貸庫トヲ論セ  
スレテ總テ改定セル規則ニ照遵履行スルニ非サレハ其券票ヲ  
發行スルヲ得ヘカラサルヲ定則トス

凡ソ新タニ貸庫ヲ造構スルニハ其土地ヲ管轄スルノ官吏ノ認  
許ニ依リ更ニ商會議會技術工藝局勸農勸商各局等ノ協議ヲ經  
由シテ共ニ之ヲ認許スルノ後ニ非サレハ其准許ヲ得ヘカラサ

ルヲ定則トス

凡ソ新タニ貸庫ヲ官管ノ貸庫アル域内ノ地所ニ造構セント請  
望シ及ヒ官管ノ貸庫ニ寄頓セル商販貨物ヲ搬出接受スルハ共  
ニ大蔵省ニ申請シテ其認許ヲ經由セサル可カラズ官管ノ貸庫  
ニ二種ノ別アリ甲ノ原名ヲアントルポルポルエールト曰ヒ乙ノ  
原名ヲアントルポルビクチーフト曰フ其二種ノ創設ノ區別  
并ニ方法ハ更ニ別本ヨリ翻譯スルヲ要ス○大蔵省ハ毎時アン  
トルポルビクチーフ即チ官管ノ貸庫ニ保管スル商販貨物ハ其  
當テ付與スル所ノテ即チ准許狀ニ照徴シテ皆已ニ其輸入  
ノ課税金ヲ税関ニ納進シテ自國ノ物品ト為リ若クハ純全ノ自  
國産出ノ物品ナル故ヲ點檢ス  
凡ソ此准許狀ヲ領受蔵有セル者ハ宜ク常ニ内國一般ノ日用消  
費物品ノ税則并ニ一局部ニ限レル課税(即チ省稅府稅縣稅ト謂



フノ類ノ如シノ類ニ至ルマテ悉皆之ヲ諳知シテ其稅則ニ確遵奉行セサル可カラズ

凡ソ貸庫ヲ造構スルノ發起人ハ貸庫ノ營業ノ為メニ特別ニ一  
所ノ麻合ヲ開設シテ貸庫ノ管轄所ト為シ廣ク海船搭載シ来タ  
レル貿易ノ貨物并ニ一般商販ニ属スル物品ニ關係シテ其經紀  
ノ事業ヲ營為料理スルノ准許ヲ受クルヲ得ヘシ然リト雖モ其  
發起人タル者ハ其所為ノ直接ナルト間接ナルト論セスレテ故  
為ニ其本人躬親ラシ若クハ或ハ他人ノ囑託ヲ受ケテ商販貨物  
ヲ賣買シ或ハ市談ニ関涉スル商業ヲ營為スル等ノ所行ハ悉皆  
嚴ニ之ヲ禁停ス

凡ソ此貸庫ノ准許ヲ受ケ得タル發起人等ハ其貸庫ノ管轄所ヲ  
開設シテ事業ヲ營為スルヲ保証スルカ為メニ官ヨリ額定スル  
所ニ照シテ其保証金若クハ之ニ代フルノ抵當物ヲ專掌ノ官署

ニ納致ス可シ其納致ノ順序ハ其本人親ラ專掌ノ官署ニ納致シ  
若クハ其官署ノ用定方ニ交付ス可シ且ツ其保証ノ抵當物ハ必  
當サニ佛蘭西國ニ於テ公然ノ價位ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充納  
スヘシ

是故ニ最初貸庫營業ノ准許ヲ受ケ得タルノ日ヨリ其保証金抵  
當物ヲ完納スルノ日ニ至ルマテハ其日數間ハ特別ノ准許ヲ受  
ケ得タル者ト看做スナリ其納致ノ順序ハ且ク先ツ其社中ノ準  
備資本金ノ數額ヲ確定シ而ル後ニ其數額ノ集齊備足スルヲ待  
テ始テ其保証金抵當物ヲ納完スヘキモノトス  
凡ソ保証金抵當物ヲ納致スルノ數額ハ其社中ノ準備資本金ノ  
數額ヨリ派定スル所ノ者ナリト雖モ當サニ務メテ其發起人等  
ヲシテ方規ニ乖背スル有ルノ時ニ臨ニ其罪事ヲ償贖スルニ足  
ル可キノ金額ヲ納致セシムルヲ以テ緊要ナリトス



凡ソ共貸庫ノ貸庫規則并ニ貸庫表式ヲ設立スルニハ之ヲ官ニ  
 開申シテ共認許ヲ經由スルヲ須ヒス然リト雖氏之ヲ世上ニ公  
 告スルヲ為メニ市中ノ街頭ニ榜示シ或ハ新聞紙ニ登載シテ偏  
 子ク衆人ニ報告スヘキ者トス。凡ソ貸主ヨリ共貸物ノ貸庫ニ  
 寄頓スルニ當タリ貸庫ノ管轄所ニ於テ共貸主ノ品行ヲ論難シ  
 若シクハ共貸主ノ親疎ニ因テ寄頓ヲ許否シ或ハ共貸庫税ヲ昂  
 廉スル等ノ私恣ノ所為アルヲ得サル可ク且又共貸庫表式ハ務  
 メテ世上ノ衆人ヲシテ共貸庫ノ規程債税等ヲ周知セシムルニ  
 足ル可キノ餘裕アル日數間ハ之ヲ榜示シ若クハ登載スルヲ要  
 ス

見ニ今佛蘭西國內ノ各地方ニ存在シ且ツ共貸物ヲ保管シ平常  
 ニ之ヲ搬入搬出スル所ノ貸庫アルノ地名等ヲ左項ニ表掲ス

第一

一千八百五十八年五月二十八日決定ノ法則ヲ布告スルノ以  
 前ヨリシテ存在シ見ニ今日ニ至ルマニ使用セル貸庫ノ所在  
 ノ地名ハ「アデイニョン」「ゴルマル」「ドンケルク」「ハーヴェル」「ハーウ  
 ル」貸庫ノ無名會社「リドル」「ルウズ」「ナント」「ルウアン」「ヴァラン  
 エンヌ」「パリ」貸庫會社「グビエト」貸庫會社等即チ是ナ  
 リ

○パチニョール傳車場ニ在ル  
 東部鐵道會社

第二

一千八百五十八年五月二十八日決定ノ法則ヲ布告スルノ以  
 後ニ造構セル貸庫ノ所在ノ地名表

各地市街ノ名	准許ヲ受タル會社人名	保管物品ノ區別
リオ	社「リオ」蚕絲貸庫ノ無名會社	蚕絲ノミヲ限リテ保管シ 他物ノ寄頓ヲ許サス
マルセーユ	社「ジヨ」エトト貸庫ノ無名會社	
ハーヴェル	社「ハーブル」エトト無名會社	



パリ (ヴェット)	コンスタンジュモン	諸油ノミヲ限リテ保管シ 他物ヲ寄頓スルヲ許サス
ヴァランシエンヌ	コラルペチー	各酒焼酎麦酒其他ノ流動貨 ノ物品ヲ寄頓スルヲ許サス
パリ (ヴェット)	トロトロ	
ランヌ	ド・サンツール	
テウエー	ラビール	
エロナール	カルチエー	
リオ	ヴェーヌ河畔ノ停車場會社	千八百五十八年五月二十八日ノ 法則ニ照依スル物品ノミヲ限リテ保管ス
ボルト	メリヨン社中	
サンカンタン	メーレスボワト	
リール (チルサンゼルマン チルサンゼルマンノ如シ)	ノード	
ナエツプ	ラヴール	
アジャン	サリエール	
エタン	マンプロワーベール	

貨物寄頓券票及ヒ貨物保管券票ヲ造作スルノ方法

貨物寄頓券票ハ商販貨物ヲ賣買轉付スル等ノ為メニ一千八百五十八年五月二十八日決定布告セル法則中ノ第一章第二章ノ旨趣ニ照依シ共商販貨物ヲ貸庫ニ搬入寄頓セシ貨主ニ付與スルカ為メニ其貸主ノ姓名職業及ヒ貨物ノ品類トヲ逐一詳明ニ券票面ニ記載ス而シテ其體裁文式ヲ齊正均一ニシ其貨物ノ價直ヲ評定スルカ為メ若シクハ貨物保管券票ヲシテ此ノ貨物寄頓券票ト同一ニ証憑シテ其貨物ヲ以テ抵當若クハ典質スルカ為メニ之ヲ副添セリ〇一千八百五十九年三月十二日決定布告スル法則ヲ以テ此ノ二券票ヲ貸庫ノ管轄所ノ帳簿ニ照對記載スルノ約束方ヲ追加セリ〇是ヲ以テ貸庫ノ管轄所ハ二券票ヲシテ為メニ其造法ノ體裁ヲ良好便宜ナラシメサル可カラズ因テ其際佛蘭西國立銀行ハ貨物保管券票ノ兌換ノ計度ノ為メニ

大蔵省



貸庫ノ管轄所ヨリ發行スル所ノ券票ヲ停鎖セシメタリ  
貸庫ニ寄頓セル貨物ヲ検査スルハ固ヨリ須要ス可キ者ニ非ラ  
サルナリ然リト雖モ其貨物ノ小數部分ヲ抽出シテ之ヲ検査ス  
ルヲ得ル而シテ此場合ニ於テハ必當サニ官ノ准許ヲ得タル  
所ノ保備人ヲシテ其事ニ眼同シテ之ヲ點檢セシムルヲ要ス其  
保備人ハ共事務ヲ料理スルカ為メニ之ニ関スル規則ニ照遵踐  
行セサル可カラズ且ツ又其備銀ヲ領受スルニハ嘗テ商法裁判  
所ノ意見ヲ以テ勸商局勸工局勸農局等ノ長官ニ協議決定スル  
所ノ規則ノ定額ニ照據ス可シ而シテ其規則ニ確定セル備銀ノ  
數額ハ「パリ」ニ於テハ貳拾五「フランクト」為シ「マルセイユ」及「  
カンルー」ニ於テハ八「フランクト」為シ「リント」ニ於テハ六「フ  
ランクト」為シ「リオ」及「ハーヴル」ニ於テハ五「フランクト」為ス  
凡ソ貨物寄頓券票及ヒ貨物保管券票ノ二券票ヲ造クルノ方法

ヲ決定スルニ於テ三月十二日布告スル所ノ法則ニ照準シ貸庫  
ニ寄頓スル貨物ノ全部ヲ以テ之ヲ幾頓ニモ區分<sup>レ其區分</sup>セル各一小部  
毎トニ此ノ二券票ヲ造ルヲ得セシムルノ條款ヲ增加セリ然リ  
而シテ共ニ券票ノ體裁文式ハ一ニ皆其定例ニ照放シテ同一  
ラシム可キモノトス  
貨物寄頓券票及ヒ貨物保管券票ニ背書スルノ方法  
凡ソ貨物寄頓券票及ヒ貨物保管券票ハ其背書ノ文面ノ書方皆  
趣ニ因リテ其貸庫ニ寄頓セル貨物ノ全部ヲ以テシ若クハ全部  
中ノ幾分ヲ區割シテ之ヲ發賣若シクハ抵當若クハ典質スルノ  
自由ヲ行ヘキ者トス  
凡ソ貨物寄頓券票及ヒ貨物保管券票ヲ連供シテ一個ノ貸主ノ  
計度ノ為メニ之ニ背書シ而シテ發賣スル以往ハ其券票面ニ記  
載スル所ノ貨物ハ已ニ既ニ其券票ニ屬シテ附註ノ所有ニ歸ス



ル者トス是ノ故ニ其財主タル者ハ其貨物ヲ真成ノ所有ト為サ  
ント欲スレハ則チ其貸庫ニ交付スヘキノ<sup>債</sup>税金等ヲ交付実清  
スレハ其新<sup>債</sup>主ト為リテ之ヲ所有スルヲ得ヘシ  
凡ソ貨物寄頓券票ヨリ分割スル所ノ貨物保管券票ハ既ニ已ニ  
之ニ背書シテ<sup>債</sup>抵當若クハ典質ト為シ而シテ其貨物寄頓券票ノ  
ミヲ以テ之ヲ賣買スルヲ約定スレハ則チ其貨物寄頓券票面ニ  
記載スル所ノ貨物ハ其買取セル財主ノ所有ニ属スルヲ得ヘキ  
者トス然リト雖モ此場合ニ於テハ其買取セル財主ハ其貨物保  
管券ヲ蔵有スル債主ニ對シテ其最初ニ貨物保管券票ヲ<sup>債</sup>抵當若  
クハ典質シテ借用セル金額ニ照算シ利子ヲ併セテ之ヲ債主ニ  
償還ス可キノ責任ヲ負擔シ及ヒ其買取セル貨物ノ全價ニ<sup>債</sup>抵算  
シテ其残額ノ金ヲ賣主ニ交付ス可キ者トス  
凡ソ貨物寄頓券票ヨリ分割スル所ノ貨物保管券票ハ之ニ背書

シテ以テ<sup>債</sup>抵當若クハ典質スルニ當リテ其債主ニ保有スル利益  
ハ其貨物保管券票ハ<sup>債</sup>トシテマシ即チ一般普通<sup>債</sup>保管券票ト  
同一ナル權利アル者トス  
凡ソ貨物寄頓券票及ヒ貨物保管券票ハ其連供スルト分割ス  
トヲ論セス之ヲ他人ニ<sup>債</sup>販賣スルノ事由ヲ背書スルニ當リニハ  
必ス當サニ其年月日ヲ記載スヘシ若シ其レ貨物保管券票ノミ  
ヲ以テ之ヲ<sup>債</sup>抵當若クハ典質スルノ事由ヲ背書スルニ當リテハ其  
年月日ヲ記載スルノ外ニ更ニ其貨物ノ總價ト借用ノ金額ト利  
子ノ數限ト償還ノ期限ト債主ノ姓名職業住所トヲ併セテ逐一  
説明ニ記載ス可キ者トス  
一千八百四十八年三月二十六日決定スル所ノ法則ヲ以テ貸庫  
ノ管轄所ノ帳簿ニ照對記載スルニ於テ貨物寄頓券票ノ背書ノ  
為メニ真正確實ナル保証ヲ付與スルノ責任ヲ負擔セシメタリ



○然リト雖其貸庫ノ管轄所ノ帳簿ニ照對記載スルノ事項ハ  
貨物寄頓券票ヲ賣買授受スルニ於テ別ニ其保証ヲ要用ナル者  
ト為サ、ルニ由リ之ヲ官ニ申請シテ其法則ヲ勾銷シ及ヒ一千  
八百五十八年五月二十八日決定スル所ノ法則中ノ第五章モ之  
ヲ勾銷シ爾來再ヒ之ヲ設定セス○是ヲ以テ貸庫ニ寄頓セル貨  
物ハ其管轄所ノ關係ヲ經由セスレテ其貸主ヲシテ自己ノ計度  
ニ應レテ直チニ其貨物寄頓券票ニ照徵シテ之ヲ他人ニ販賣シ  
貸主ヲ轉換スルノ便宜ヲ見ルヲ得タリ

凡ソ貨物寄頓券票ヨリ分割スル所ノ貨物保管券票ニ背書スル  
ハ上項ニ及セリ之ヲ抵當若クハ典質スルニ最初ニ當リテ其  
註タル者ハ必當サニ抵當若クハ典質スル貨物ノ品類價格等ヲ  
以テ貸庫ノ管轄所ノ帳簿ニ照對記載スルノ順序ヲ經由シ始メ  
テ能ク其貨物保管券票ヲシテ抵當若クハ典質ニ行使スルノ

功用ヲ保存セシムルヲ得ル者トス○蓋シ此貸庫ノ管轄所ノ帳  
簿ニ照對記載スルヲ要用ナリト為ス所以ノ者ハ其貸庫ニ寄頓  
スル貨物ヲ以テ券票ニ變換シ「ナ」チスマレ即チ保管券票ト為  
レ之ヲ行使セシムル初起ノ月日ヲ確定スルカ為メナリ然リ而  
メ此帳簿ニ照對記載スルノ事項タル貸庫ノ管轄所ノ為メニハ  
別ニ要用アル者ニハ非ラサルナリ○是ヲ以テ帳簿ニ照對記載  
スルノ例方ハ其最初第一次ノ抵當若クハ典質スル場合ニ於テ  
貨物保管券票ニ背書スル時ニ限レル者トス爾後其貨物保  
管券票ハ彼此ニ轉運シテ幾次ノ授受アルモ其毎次ニ帳簿ニ照  
對記載スルノ例方ハ之ヲ設定スル所ナキナリ然ル所以ノ者ハ  
最初第一次ニ於テ既ニ已ニ照對記載ノ順序ヲ經由スレハ則チ  
其貨物保管券票ハ饒使ヒ甲ヨリ乙ニ轉シ丙ヨリ丁ニ移ルモ是  
レ唯其所有主ヲ變換スルニ止マルノニ故ニ別ニ他ノ事障礙ア



ルニ非ラサレハ其自由ニ一任シ貨物保管券票ハ認メテ以テ一  
般普通ノ保管券票ト同一ニ看做セハテリ  
是ヲ以テ三月十二日決定布告スル所ノ法則中ノ第十六章ノ旨  
趣ニ照シ貨物寄頓券票及ヒ貨物保管券票ヲ連供シ彼此承諾  
シテ之ヲ賣買シ而シテ其買取セル買主ハ何人ナルヲ論セス其  
貨物ヲ寄頓セル貸庫ノ管轄所ノ帳簿ニ照對記載シテ其貨物ノ  
貸主ヲ換改スルヲ得ヘシ此場合ニ於テハ買取セル買主ノ住所  
ヲ指書ス蓋シ此方法タルヤ其買主ニ便宜ヲ付與スル者ニシテ  
買取セル券票ノ為メニ利益ヲ占メ得ヘキノ時ニ臨ミ之ヲ料理  
スルニ容易ナラシムルカ為メナリ

貨物保管券票ニ對スル償還ノ約束并ニ貨物ヲ發賣償濟ス  
ルノ方法

凡ソ貨物寄頓券票ヨリ分割スル所ノ貨物保管券票ヲ以テ之ヲ

抵當若クハ典質スルヤ其貨物保管券票ヲ見在ニ挈持シ来レル  
人ハ何人ナルヲ論セス其償還ノ期限以前ニ係ル雖モ其抵當  
若クハ典質セル貨物保管券票ニ對シ借用スル所ノ負債金ヲ債  
主ニ償還スルヲ得ヘキ者トス  
或ハ若シ其債主ト連主ト相識ルト相識ラサルトヲ問ハス目ツ  
又其連主ト債主ト償還ノ約諾ヲ協定スルト協定セサルトヲ論  
セス其償還ノ準備ヲ料理スルヲ得ヘシ其方法ハ貨物保管券票  
ニ對シテ借用セル母金ノ総額ト償還約定ノ期限ニ滿ツルマテ  
ノ利金トヲ齊足シテ其貨物ヲ寄頓スル貸庫ノ管轄所ニ納致抵  
證スル於テハ假令ヒ之ヲ債主ニ通報セサルモ其貨物ハ自己  
ノ計度ニ應レテ自由ニ之ヲ進退スルヲ得ヘキ者トス  
凡ソ貨物寄頓券票ヨリ分割スル所ノ貨物保管券票ヲ藏有スル  
人ハ之ヲ挈持シテ連主ニ其償還ヲ督促スルヲ得ヘシ其督促ス



ルニ當リテ「プロテ」即チ貸金償還ニ関シテ紛糾ノ故障ノ起レ  
ル本日ヨリ以後ノ八ケ日間ヲ閱過スレハ其券票ノ蔵有人ハ一  
千八百五十八年五月二十八日決定布告セル物品發賣ノ法則ニ  
照據シ彼ノ通常定例ノ公ケノ判決ヲ經由セサルモ私協約諾ヲ  
以テ其貨物保管券票ニ對シテ抵當若クハ典質スル所ノ貨物ヲ  
發賣スルノ料理ヲ為スヲ得ヘキ者トス  
此際ニ臨ミテ貨物保管券票ヲ以テ抵當若クハ典質セル逋主并  
ニ保證人等ハ其償還ノ期限ニ至リ借用スル所ノ母金ト利子ト  
ヲ完償シテ「プロテ」ノ紛難ヲ避ケ免カレント欲スルノ方法ハ  
之ヲ如何シセハ則チ可ナル歟其方法ハ即チ指揮方ノ第七章ノ  
末款ニ詳見セリ  
凡ソ貨物保管券票ヲ蔵有セル人ハ貨物寄頓券票ヲ蔵有スル人  
ニ對シ其貸金償還ノ期限ノ以後八ケ日間ヲ閱過スレハ復ク為メ

ニ之ヲ逋主ニ通知セサルモ公然ト其貨物保管券票ニ對シテ抵  
當若クハ典質セル所ノ貨物ヲ發賣スルヲ得ルノ權アリトス○  
債主已ニ其貨物ヲ發賣シ而シテ若シ其逋主ヲシテ面識ノ人ニ  
係ラシメハ其發賣價直ノ額内ヨリ貸金ノ母金ト利子ト扣斷シ  
尚オ餘贏アルニ於テハ直チニ逋主ニ還付算清ス可シ若シ其逋  
主ヲシテ面識ノ人ニ係ラサシメハ其餘贏ノ金額ヲ以テ貸庫  
ノ管轄所ニ寄託シテ之ヲ保管セシム可シ  
凡ソ其抵當若クハ典質セル貨物ヲ發賣スルニ関シテ其債主等  
ノ請望ニ應レ若クハ其許諾ニ因リ通常例法ノ公ケノ判決ヲ經  
由セス私協約定ヲ以テ發賣價直ノ額内ヨリ直チニ其貸金ノ母  
金ト利子トヲ償取スルヲ得ルノ場合ニ於テハ左項ニ掲記スル  
條項ヲ其價直ノ額内ヨリ扣斷スヘシ

第一

大蔵省



間接ノ税金 食用物品ノ税金 貨物ニ相當セル税関ノ税金

第二

貨物ヲ發賣スルニ関シテノ費用 貨物ヲ寄頓スルニ関シテノ費用 貨物ヲ保管スルニ関シテノ費用

此等ノ事項ヲ料理スルニハ租稅局特別ニ動產物品并ニ家財一般ノ事ニ関シテ制定セル法則ニ照準ス可シ其料理ノ順序ハ一千七百九十一年八月六日及ヒ二十一日決定布告スル所ノ法則中ノ第十三章ノ第二十二則ニ於テ詳明ニ之ヲ掲記セリ

凡ソ貨庫ニ寄頓セル貨物ノ發賣ヲ容易ニシ且ツ便利ナラシムルカ為メニ三月十二日決定布告スル所ノ法則ヲ以テ其貨庫ノ管轄所ヲシテ貨物寄頓券票若クハ貨物保管券票ヲ蔵有スル人ノ請望ニ應シテ其發賣價直ノ額内ヨリ貸金ノ母金ト利子トヲ扣斷シテ直キニ之ヲ償取シ及ヒ諸般ノ課税金ト費用金トヲ支

交算清スルノ私協約定ヲ結定料理セシムルノ責任ヲ負擔セシメタリ○此ノ法則ハ貨庫ノ管轄所ニ於テ貨物保管券票ニ對シテ寄頓セル貨物ヲ賣買授受スルニ臨ニ紛紜ノ故障ヲ生セシ時ニ方タリ官ノ准許ヲ受タル保僱人ヲシテ其紛紜ヲ辨解シ貨物發賣ノ料理ヲ容易ナラシムルノ便宜ヲ付與スルノ目的ニ出ツル者トス○此場合ニ於テハ彼此ノ利益ヲ保護スルカ為メニプロセヴェルバール即チ賣買授受ノ間ニ起レル故障ノ事由書ヲ貸庫ノ管轄所ニ呈進セシメ而シテ管轄所ハ其事由ト非理トヲ認判スルノ後ニ非サレハ其貨庫ニ保管スル貨物ヲ以テ之ヲ買取セル買主ニ交付スルヲ得ヘカラス 其一ニハ課税金ノ納進并ニ貨物ニ関スル費用金ノ支付ノ料理ハ其貨物保管券票ニ對シテ稱貸セル母金ノ總額ニ照算ス 其二ニハ發賣價直ノ額内ヨリ母金ト利子ヲ扣斷スルモ尚ホ餘贏ノ在ル有レハ貨物寄頓券



票ヲ藏有スル人ニ還交其清ス○此ノ價直ノ餘贏ノ金額ト若クハ貨物寄頓券票ヲ藏有スル人ヨリ借用金額ヲ期限以前ニ償還セント欲シ之ヲ貸庫ノ管轄所ニ納致抵証セル母金利子ノ總額トハ共ニ商業ノ經紀上ニ於テ公然ナル定理ト特別ナル注意トニ因リテ法則中ノ第十九章ノ旨趣ニ照據シ貸庫ノ管轄所ノ帳簿ニ記載スルノ上ニ於テ之ヲ確定スル者トス  
其貨物ヲ發賣スル事ニ関シテノ五月二十八日決定布告スル所ノ法則中ノ第九章ハ即チ一千八百四十八年制定ノ立法ニ反對シテ因起スル情願ヲ開申スル者ヲシテ十分ノ満足ヲ與フルノ目的ニ出ル者ニシテ是レ即チ上文ニ逐節縷述スル所ノ事項ナリトス○此章ハ貨物保管券票ヲ藏有スル人ヲシテ其通主及ヒ其背書セル人ニ對シ其自己ノ權利ノ十分ナラサル場合ニ於テハ其抵當若クハ典質セル貨物ニ就キテ其權利ヲ協達スルノ後

ニ非ラサレハ之ヲ徵求スルヲ得ヘカラサルヲ說明セリ○是ヲ以テ其貨物ノ發賣ヲ料理スル以前ニ於テ商法第百六十五章ヲ以テ限定スル所ニ照準シテ餘裕ノ日間ヲ豫定セサル可カラス然ル所以ノ者ハ其債主タル者ハ貨物保管券票ニ背書セル人ニ對シ其貨物ヲ實際ニ發賣スルノ期日ニ至ラサレハ之カ徵求ヲ為スヲ得ヘカラサルヲ以テナリ○法則上ニ於テ或ハ若シ紛紜ノ故障ノ起レル有リテ其本日以後ノ一ヶ月内ニ貨物發賣ノ料理ヲ為サレハ則チ其債主タル者ハ貨物保管券票ニ背書セル人ニ對シテ其徵求ノ權利ヲ失フ者トス  
立法官ハ諸種ノ券票類ヲ賣買經紀スル店舗ノ為メニ其賣買授受スルニ十分ナル簡易便利ノ方法ヲ設定スルヲ擔任從事セリ○凡ソ此ノ貨物保管券票ハ諸種ノ商法ニ関スル券票類ヲ賣買經紀スルノ店舗ヲシテ正確ナル保管券票ナリト公認領諾シテ



賣買授受ス可キ者トス而レテ「コントワール」デスコント即チ其  
券票類ヲ經紀授受シテ幾許ノ僱錢ヲ得ル店舗ニ於テハ其姓名  
ヲ單記シ銀行ニ於テハ其姓名ヲ雙記スルヲ以テ之ヲ承諾ス  
貨物寄頓券票及ヒ貨物保管券票ヲ亡失セルノ處置  
貨物寄頓券票ヲ亡失セル場合ニ於テハ其貨物ハ自己ノ所有ク  
ルヲ証明シテ其馬通ヲ換有マルヲ得ヘシ若又貨物保管券票ヲ  
亡失セル場合ニ於テハ其貨物保管券票ニ對セル貸金ヲ自己ニ  
償取スル際ノ順序ニ照依ス可シ

証券印紙ノ貼用并ニ記載ノ方法

凡ノ証券印紙ノ貼用并ニ記載ノ方法ハ商販貨物ヲ賣買スル事  
ニ関シテノ一千八百五十八年五月二十八日決定布告スル所ノ  
法則ニ照準ス可シ

第一

商販貨物ヲ以テ貸庫ニ寄頓シテ保管セシムル所ノ貨物寄  
頓券票及ヒ貨物保管券票ノ料理

貨物寄頓券票ナルモノハ單簡ニ之ヲ直説スレハ其貸庫ニ寄  
頓セル貨物ハ自己ノ所有タルヲ証明スルノ功用アル券票ナ  
リトス而レテ其券票ニハ共和政治ノ世代ノ第七年二月十三  
日決定スル所ノ法則中ノ第十二章ニ掲載スル<sup>凡例</sup>ニ照準シ  
テ其券票面ノ金額ニ應スル証券印紙ヲ貼用ス可キ者トス〇  
此ノ貨物寄頓券票ヲ記載スルニ関シテ納付ス可キノ手数料  
ハ五月二十八日決定スル所ノ法則中ノ第十三章ニ於テ一フ  
ランクト額定セリ而シテ其貨物寄頓券票ヲ須要ニ供使スル  
歟或ハ公賣運轉スル歟或ハ紛紜ノ事故ノ判決ヲ申訴スル歟  
其他之ニ類似スル事項ノ為メニ此券票ヲ要用スル等ノ場合  
ニ非ラサレハ一フランクノ手数料ヲ納付スルヲ須ヒス



貨物寄頓券票ヨリ分割スル所ノ貨物保管券票ハ其未タ之ニ  
背書セサルノ以前ニ於テ其券票ノ貨物ノ價直金額一千フ  
ラシノ毎ニ五十<sup>ナ</sup>ナノ証券印紙ヲ貼用スルノ法則ニ照違ス  
可ク且ツ其記載ノ手数料ハ一百フランク毎ニ五十<sup>ナ</sup>ナ  
ヲ納付ス可シ○此ノ証券印紙ノ貼用ヲ確定スル所以ハ豫定  
法則中ノ第十三章ニ於テ凡ク或ハ証券印紙ヲ貼用セサル歟  
若クハ之ヲ貼用スルモ其銷印ヲ為サハル等ノ背書アル貨物  
保管券票ヲ貸庫ノ管轄所ノ帳簿ニ記載シテ之ヲ保証スルヲ  
禁過スルヲ為メナリ○貸庫ノ管轄所ハ此禁止ニ背違スル有  
レハ其貨物保管券票ニ貼用セル証券印紙ノ稅金額ニ照算セ  
ル罰金ヲ徴セラル可ク且ツ又此禁止ニ背違スル貨物保管  
券票ヲ藏布セル人ハ其處分ニ關シテノ共和政治ノ世代ノ第  
七年三月二十二日決定スル所ノ法則中ノ第五十四章ニ掲載

スル罰法ニ照據シテ處斷セラルヘキ者トス

第二

金額ヲ納致抵証セル所ノ貨物寄頓券票ノ料理

証券印紙ノ貼用并ニ貨物寄託券票ノ記載ノ事項ハ一千八百  
五十八年豫定ノ法則ニ於テハ其要証ナキ者トス何ナレハ則  
チ印紙ノ貼用及ニ券票ノ記載ハ一般ノ課税法中ニ確定掲載  
スルヲ以テナリ○貸庫ノ管轄所ハ其金額ヲ納致抵証スル為  
メニハ其貨物寄頓券票ハ官府ニ於テ之ヲ作ル者ト同一ニ公  
認ス可キ者ト為ス且ツ其券票ノ證明ハ其貼用セル証券印紙  
ノ稅金額ヲ以テ之ヲ證明シ而シテ其記載モ之ニ由テ措置ス  
ル者トス  
此項序ヲ為スヲ要求スル場合ニ於テ其貨物寄頓券票ヲ藏  
布スル人ヨリ納付抵証ヲ為セハ一百フランク毎ニ五十<sup>ナ</sup>ナ



貨物寄附票式ノ様

貨庫 = 搬入スルノ番號 税関貨庫、 食物貨庫、 鹽物貨庫、 無税搬入國産ノ砂糖類ノ貨庫	數量種及ニ外包ノ符標 品質并ニ外包ヲ供稱スル斤量
--	-----------------------------

東三所治何年何月何日

管轄所長

誰某

官許貨庫  
 嚙托 = 應スル貨物寄頓券票 第 號  
 何府縣管下何大區何小區何團郡村町何番地 = 居住スル誰某  
 氏ヨリ寄頓スル所ノ何處ヨリ何船又ハ車等ヲ以テ搬入スル  
 所ノ貨物ハ左項ノ如シ

第三  
 貨物ヲ發賣シテ負債ヲ償完スル書記方  
 此書記ノ書法ハ証券印紙ノ税金額ニ照依ス可キ者トス而シテ  
 其券票ヲ以テ之ヲ公賣運轉スル歟或ハ車事故ノ判決ヲ申請  
 スル歟其他之ニ類似スルノ事項ニ要用スルハ記載法ニ照  
 準シ一般ノ定税ヲ課抽スル者トス然リト雖モ此ノ如キ場合  
 ハ希レニ有ルノ事ト為ス



貨物ノ保管券ノ式

官許貨庫  
 部属  
 嗎托ニ應スル貨物保管券  
 第四條  
 何府縣管下何大區何小區何國郡村町何番地ニ居住スル誰某  
 氏ヨリ寄頓シ所ノ何處ヨリ何船又ハ車等ヲ以テ搬入スル  
 所ノ貨物ハ左項ノ如シ

貨庫ニ搬入スルノ番號	數量種類及ヒ外包ノ符標	品質并ニ外包ヲ保稱スル斤量
稅間貨庫		
食物貨庫		
鹽物貨庫		
無稅搬入國產砂糖類貨庫		

東京明治何年何月何日

管轄所長

本



